

第33回

あなたは、戦争があるこの世界でいいんですか？

第33回 多摩市平和展

日本では戦争や紛争がない平和な日常が続いているが、世界を見渡せばウクライナやガザ地区をはじめ、世界各地で今もなお、武力紛争が続き、多くの人が苦しんでいます。

一方で、79年前、日本も悲惨な戦争の中にありました。その戦争は決して遠い過去の出来事ではありません。しかし、戦争体験を直接語れる方は年々少なくなっていて、戦争を知らない世代へどのように受け継いでいくのか、今こそ考えていかなければなりません。

オープニングイベント

なぜ戦争を描くのか～映画「タリナイ」&トーク～

1945年4月、太平洋の戦地マーシャル諸島で、補給を絶たれた一人の日本兵が餓死しました。71年後、74歳となった彼の息子は、父の最期の地を巡る旅に出ます。



大川史織氏▲

映画「タリナイ」は、映画監督の大川史織さんがその旅に同行して撮影したドキュメンタリー映画。若い世代の大川さんが、なぜ戦争を描くのか。そして、マーシャル語「タリナイ」の意味とは。

映画上映と大川さんの講演を通して、私たち自身が、どのように戦争と向き合い、伝えていくのかを考えます。

■ 8月18日(日)午後2時～5時(1時30分開場)場小ホール定員250人講師大川史織氏(映画監督)



映画「タリナイ」よりウォッヂ島に残る戦争遺跡に腰掛ける子ども©春眠舎

展示

●戦死者たちからのメッセージ ～武田美通・鉄の造形～

■ 8月18日(日)～25日(日)午前10時～午後6時場市民ギャラリー内太平洋戦争で自決や餓えで亡くなった兵士などを表現した等身大の作品展



「希望」～命は受け継がれて～▶

●広島基町高校の生徒と被爆体験証言者との共同制作による「原爆の絵」

■ 8月18日(日)～25日(日)午前10時～午後6時場市民ギャラリー

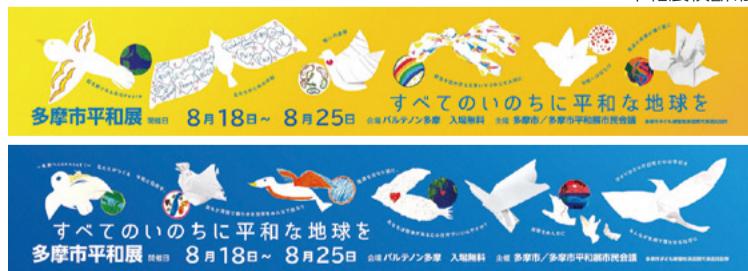
●都立永山高校の生徒から平和へのメッセージ

■ 8月18日(日)～25日(日)午前10時～午後6時場オープンスタジオ内都立永山高校の3年生が、広島への修学旅行で学んだことなどを綴った作文の展示

●平和展横断幕をパルテノン通りに掲示しています！

多摩市子ども被爆地派遣事業に参加した歴代派遣員が平和展の横断幕を製作しました。

▼平和展横断幕



上演・講演

●へいわってなんだろう～パントマイムを通して親子で考える～

■ 8月18日(日)午前11時～正午(午前10時30分開場)場小ホール定員250人内言葉を超えた演技「パントマイム」で平和な日常を表現出演者金子しんpei氏(パントマイミスト)



▲金子しんpei氏

●若い人たちへの伝言～語り継ぐ戦争体験～

■ 8月19日(月)・20日(火)・21日(水)、各午後

1時～2時(0時30分開場)場オープンスタジオ定員各60人

●教えて！“多摩火工廠、勤労動員のころ”証言映像から考える

■ 8月22日(木)午後2時～3時30分(1時30分開場)場オープンスタジオ定員60人講師神子島健氏(東京工科大学教養学環教授)

●登戸研究所と帝銀事件

■ 8月24日(土)午前10時～正午(午前9時30分開場)場会議室1定員80人講師山田朗氏(明治大学文学部教授、明治大学平和教育登戸研究所資料館館長)

児童と生徒による報告会&お話し会

●都立永山高校の生徒による平和学習の報告と平和絵本のお話し会

■ 8月19日(月)午後2時30分～3時30分(2時15分開場)場オープンスタジオ定員60人内広島での修学旅行の体験報告、平和紙芝居・絵本の読み聞かせ



▲令和5年度の成果報告会の様子

●令和6年度多摩市子ども被爆地(広島)派遣事業成果報告会

■ 8月25日(日)午後2時～4時30分(1時

30分開場)場オープンスタジオ定員60人内派遣員が被爆地「広島」で学んだことや、平和への想いを伝える。シンガーソングライターのカツルミさんによる平和のコンサートなど

あなたも平和展の企画・運営に参加してみませんか？これからの平和展と一緒に考えてくれる個人・団体を募集中！ 詳細は、平和・人権課へ